

# 茨城大学同窓会連合会会報

2012.3  
第6号



日立キャンパス（E1棟）



教育学部（B棟）

## 平成22年度を振り返って



茨城大学同窓会連合会会長  
久保田 益充

茨城大学同窓会連合会の平成22年度は平成22年10月1日から平成23年9月30日までとなります。その間の出来事と言えば昨

年の3月11日に発生した東日本大震災を除いて語ることはできません。大学では卒業式が中止となり、学位記が学部等の総代に授与される形となりました。また、入学式も中止となりました。施設等の被害も甚大で、建物内外の亀裂、実験・研究設備の損壊は勿論、震源地に近い北茨城市五浦では国登録有形文化財の「六角堂」が津波によって流失するという惨事に見舞われました。

同窓会連合会活動も大震災によって少なからず影響を受け、同窓会連合会会報第5号の発行が3月から5月に、大学役員と同窓会連合会との懇談会が6月から7月にそれぞれ延期されました。第6回茨城大学同窓会連合会総会は予定どおり昨年の10月1日に開催することができました。議事は、(1)平成22年度事業及び会計報告、(2)平成23年度事業計画及び予算についてなどでしたが、審議の結果原案どおり満場一致で承認されました。なお、平成23年度の予算に関連して同窓会連合会から「六角堂等復興基金」へ10万円を寄付することが決定されました。総会後の懇親会では、大学側からの現状報告と各同窓会からの活動状況が紹介されました。同窓会連合会も回を重ねるごとに同窓会同士の一体感、大学との一体感が増してきているように感じます。母校を盛り上げるための大きな力になればと願っています。

## 大学から一同窓会連合会の期待に応える努力を



茨城大学理事（教育担当）  
田代 尚弘

茨城大学同窓会連合会会員の皆さまには、大変お世話になっております。御礼申し上げます。「同窓会連合会会報」も第6号になり、この間、皆さまから、さまざまなお支援を頂いてまいりました。昨年3月11日の東日本大震災に際しましては、いろいろご心配、支援をいただきました。同窓会の皆さまの茨城大学を大切に思ってくださいる熱い気持ちに、あらためて感謝申し上げます。

大震災発生の当初、大学では教育・研究をはじめ、各種の業務にかなりの混乱が生じましたが、池田学長のリーダーシップのもと、教職員が一丸となり、さまざまな困難を乗り越え、教育・研究、各種業務を早期に正常化させることができました。この間、茨城大学も甚大な被害を被った茨城県の各地域に学生ボランティアを派遣したり、義援金を募ったり、被害調査団を組んだりして、ささやかながら支援活動を展開し、また福島原発の事故による放射能問題に対しても、できる限りの危機対応を行ってまいりました。

被災地で苦しんでいる方々のために、大学としてもできるかぎりの支援の輪を広げていかなければなりません。茨城大学同窓会連合会の皆さまも、茨城大学に対して、そのような期待をお持ちになっているのではないかと、忖度するところであります。これまで茨城大学は同窓会連合会にいろいろなお支援をお願いしてまいりました。今後は、同窓会連合会の大学に対するさまざまな期待に、大学がいかに応えていくことができるのか。また、同窓会連合会の皆さまには茨城大学に何を、どのような形で期待して頂けるのか。大学自らがその答えを出す努力を重ねることは当然のことですが、会員の皆さまからも率直なお意見やご叱正をいただければと願っております。

茨城大学は法人化第一期の間に積もった問題や課題を克服しながら、池田学長を中心として第二期を力強く充実させていきたいと思っております。なにとぞよろしくお願ひいたします。

## 第6回茨城大学同窓会連合会総会及び懇親会を開催

平成23年10月1日（土）に茨城大学茨苑会館において、第6回茨城大学同窓会連合会総会が開催されました。

総会は、久保田会長の挨拶に始まり、議事として①平成22年度事業及び会計報告について、②平成23年度事業計画及び予算について、予算には六角堂等復興基金へ10万円の寄付が計上されました。③平成23年度役員について佐久間代表幹事及び事務局から説明があり、審議の結果、満場一致で承認されました。

総会終了後、会場を茨苑会館「SHIEN」に移し、懇親会が開催され、茨城大学同窓会連合会、各学部同窓会、職域・地域同窓会及び茨城大学の関係者が43名出席し、茨城大学からの近況報告や各学部同窓会及び職域・地域同窓会からの活動報告など、終始和やかな中で情報交換を図ることができました。

最後は、参加者全員で茨城大学校歌を斉唱し、今後も同窓会と大学が密接な連携を保ちながら活動していくことを祈念して閉会となりました。

### 平成22年度茨城大学同窓会連合会事業報告

年月日	事業項目	開催場所等	内容
H22/10/2(土)	第5回同窓会連合会総会	茨苑会館	
H22/12/3(金)	第14回同窓会連合会幹事会	事務局第2会議室	①会報(第5号)の発行について ②同窓会連合会第5回総会報告について
H23/5/27(金)	同窓会連合会会報「第5号」発行	事務局(総務課)	発行部数:5,500部(震災の影響により発送が遅れた。)
H23/6/17(金)	第15回同窓会連合会幹事会	事務局第2会議室	同窓会連合会事業活動について
H23/7/14(水)	茨城大学役員と同窓会連合会との懇談会	事務局第3会議室	①大学運営に係る現状報告について ②各同窓会からの要望等について
H23/8/5(金)	第16回同窓会連合会幹事会	事務局第2会議室	同窓会連合会総会(第6回)について
H23/10/1(土)	第17回同窓会連合会幹事会	茨苑会館会議室	①平成22年度事業及び会計報告について ②平成23年度事業計画及び予算について

### 平成22年度茨城大学同窓会連合会収支決算書 (H22.10.1～H23.9.30)

事項	収入			事項	支出		
	収入見込額	収入済額	備考		支出見込額	支出済額	備考
1 繰越金	1,010,157	1,010,157		1 管理費			
2 会費	250,000	250,000	同窓会連合会会費 (@5万円×5学部同窓会)	(1) 通信費	20,000	4,810	郵送切手代等
3 事業費	120,000	117,000	同窓会連合会第5回懇親会費 (@3,000円×39名)	(2) 印刷費	150,000	115,500	会報(第5号)5,500部
4 預金利息	400	176		(3) 事務費	50,000	0	同窓会封筒作成、HP管理運営費等
合計	1,380,557	1,377,333		2 事業費			
				(1) 会議費	160,000	125,500	第5回懇親会経費
				(2) 交際費	50,000	0	茨大役員との懇談会経費
				3 予備費	950,557	0	
				合計	1,380,557	298,410	

差引残額 [収入]1,377,333円-[支出]298,410円=[残額]1,078,923円(平成23年度へ繰越)

### 平成23年度茨城大学同窓会連合会事業計画

年月日	事業項目	開催場所等	内容
H23/10/1(土)	第6回同窓会連合会総会	茨苑会館集会室	
H23/12/15(木)	第18回同窓会連合会幹事会	事務局第2会議室	①会報(第6号)の発行について ②同窓会連合会第6回総会報告について
H24/3/	同窓会連合会会報「第6号」発行	事務局(総務課)	発行部数:5,500部
H24/6/	第19回同窓会連合会幹事会	事務局第2会議室	同窓会連合会事業活動について
H24/7/	茨城大学役員と同窓会連合会との懇談会	事務局第3会議室	①大学運営に係る現状報告について ②各同窓会からの要望等について
H24/8/	第20回同窓会連合会幹事会	事務局第2会議室	同窓会連合会総会(第7回)について
H24/10/	第21回同窓会連合会幹事会	茨苑会館	①平成23年度事業及び会計報告について ②平成24年度事業計画及び予算について

### 平成23年度茨城大学同窓会連合会予算 (H23.10.1～H24.9.30)

事項	収入			事項	支出		
	22年度決算額	23年度予算額	備考		22年度決算額	23年度予算額	備考
1 前年度繰越金	1,010,157	1,078,923		1 管理費			
2 会費等	250,000	250,000	同窓会連合会会費 (@5万円×5学部同窓会)	(1) 通信費	4,810	20,000	郵送代等
3 事業費	117,000	120,000	同窓会連合会懇親会費 (@3千円×40名)	(2) 印刷費	115,500	150,000	会報(第6号)5,500部
4 預金利息	176	200		(3) 事務費	0	50,000	同窓会封筒作成、HP管理運営費等
合計	1,377,333	1,449,123		2 事業費			
				(1) 会議費	178,100	180,000	懇談会等経費
				(2) 交際費	0	50,000	職域同窓会総会等経費
				(3) 寄付金	0	100,000	六角堂等復興基金への寄付
				3 予備費	0	899,123	
				合計	298,410	1,449,123	

## 同窓会交流コーナー

### 教育学部同窓会の近況報告

教育学部同窓会幹事長 佐藤 瑛一



教育学部同窓会は昭和36年に発足して半世紀、50年が経ちました。学部卒業生の大部分は、県内の小中学校、高等学校等の教員として児童・生徒の教育に当たっていますが、県外において、企業・官公庁等において活躍している人も相当数おります。

同窓会の現在の主な活動としては、1. 総会・代議員会・幹事会・役員会の開催。総会と代議員会は隔年開催で、例年6月の第4日曜日（開催期日は会報へ掲載）に開催しています。2. 教科・地域支部会の開催。40を超える支部がありますが、活動が活発な支部は限られているようです。3. 同窓会報の発行。会報は、昭和42年に創刊号が発行され、今年第44号を発行しますが、毎号、一般投稿の他に教育

に関する特集を組むようにしています。最近では、「未来をひらく人間教育」、「子どもに笑顔を・学校に元気を」、「コミュニケーション能力を高める教育」、「真の学力向上をめざして」等を取り上げ、今年「大震災をのりこえて」をテーマとし、各号では執筆を校長、教頭、教諭、行政職、学生、大学教員、企業職等の人たちと幅広く依頼するようにしています。4. 教員採用試験へ向けての学生支援講座の開催。これは、少子化や学校の統廃合等に伴う教員採用数の激減により、卒業生の本採用が数十名に落ちてしまったことに起因しています。学部からの開講要請もあり、行政職・管理職の経験者を講師に依頼し、講義のほか小論文・面接には特に力を入れて指導を行っています。今年で13年目になりますが、毎回120～130名の受講者があり、学部生のみならず、他学部からも参加しています。

### 工学部の近況報告

多賀工業会理事、幹事長 大賀 仁



平成23年3月11日に発生しました東日本大震災により、工学部は大きな被害を受けましたが、先輩諸氏の心温まる力強いご支援を頂き、復興に向け、再出発したところでございます。ご厚情誠に有難く、厚くお礼申し上げます。

ご承知の通り、茨城大学工学部・理工学研究科は、産業界のニーズに対応した教育改善に向けて体制の整備を進め、社会貢献の拡大を目指した教育・研究を行っています。その結果、地域貢献度において、本学は平成23年度「大学地域貢献度ランキング（491大学の回答中）第5位」にランクされる等、成果を上げてきております。平成24年度は、研究力のさらなる向上を目指し、学科・専攻を横断した組織的研究を展開し、日立キャンパスの目玉となるような研究分野を確立するため、工学部に1) ライフサポート科学教育研究センター、2) 塑性加工教育研究センター、3) グリーンデバイス教育研究セン

ター、4) 防災セキュリティ技術教育研究センターの4つの研究拠点が設立されます。これらのセンターは、学内のベテラン教員から若手教員、大学院生等が結集し、チームで地元を中心とする関連企業と研究開発からお互いの人材養成まで包括的な連携を強め、外部の優れた研究者を特命教授にお迎えして研究力を高め、国内外の他大学・研究機関とネットワークを作り、世界的な教育研究拠点に発展させて地域の発展に貢献することを目的としています。本年1月25日にセンター発足シンポジウムが行われました。今後、これらの研究センターがさらに発展出来ますよう、一層のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、日立キャンパス震災復興支援募金では、多賀工業会から20,836千円もの募金を賜り、誠にありがとうございました。お陰様でN4棟を「小平記念ホール(仮称)」として改修できることになりました。センターの成果を紹介し、企業との交流を一層進める場としても活用したいと計画しています。

学内ニュース

六角堂等復興基金への寄付



寄付の贈呈  
(左：池田学長、右：久保田会長)

日本美術院を創立した岡倉天心が北茨城市五浦に土地を求めたのは1903年（明治36年）で、その3年後には日本美術院の拠点が東京から五浦に移りました。新しい日本美術の創造を目指した運動が展開され、横山大観、下村観山、木村武山、菱田春草らによる日本近代美術史上に残る数々の名作が生まれました。しかしながら、1913年の天心病没を機に日本美術院の五浦時代は終わりました。天心の居宅や六角堂を含む地域を1955年頃から茨城大学が五浦美術文化研究所として管理しています。

天心が座して太平洋を眺め、波の音を聞きながら、思案にふけたという六角堂は海に張り出した岸壁の上に1905年に建てられました。国登録有形文化財であったその六角堂が東日本大震災で発生した津波によって流失しました。

茨城大学同窓会連合会 会長 久保田 益充

大学は六角堂の再建に向けて作業を開始し、建物は残っている実測図を基に忠実に再現し、年度内にも完成したいとしています。また、海中から引き揚げた六角堂の一部の資材については、六角堂の遺品として保管するという事です。大学では六角堂の再建などにかかる費用に充てるために昨年の5月には「岡倉天心記念六角堂等復興基金」を設立しています。

同窓会連合会では第6回総会（昨年10月1日）において復興基金に10万円を寄付することに決定し、昨年12月15日に池田学長に同窓会連合会から寄付金を贈呈しました。母校発展のために少しでもお役に立つことができればと願っております。



六角堂（震災前）



六角堂（震災後）

茨城大学同窓会連合会役員名簿

名誉会長 池田 幸雄 (茨城大学長)  
顧問 田代 尚弘 (茨城大学副学長)  
顧問 神永 文人 (茨城大学副学長)  
会長 久保田 益充 (理学部同窓会会長)  
副会長 野口 芳男 (文理・人文学部同窓会会長)  
副会長 堀川 賢壽 (教育学部同窓会会長)  
副会長 臼井 敏雄 (多賀工業会会長)

副会長 赤塚 尹巳 (農学部同窓会会長)  
代表幹事 佐久間 隆 (理学部同窓会常任幹事)  
幹事 糟谷 政和 (文理・人文学部同窓会幹事長)  
幹事 佐藤 瑛一 (教育学部同窓会幹事長)  
幹事 山村 靖夫 (理学部同窓会常任幹事)  
幹事 大貫 仁 (多賀工業会理事、幹事長)  
幹事 黒田 久雄 (農学部同窓会幹事長)  
会計監事 金子 一夫 (教育学部同窓会幹事)  
会計監事 杉田 龍二 (多賀工業会理事、財務担当)

編集後記

平成23年3月に発生した東日本大震災により、震源に近い茨城県北部にある日立キャンパスをはじめ、水戸、阿見キャンパスでも建物や実験装置などに多大の被害を受けました。多数の方々からの寄付をもとに「五浦の六角堂」の再建にほぼ目処がつき、また数次の補正予算により大学内の建

物や装置などは震災前の状態に回復しつつあります。

福島の子原子炉事故について「事故収束」宣言が出されましたが、これから被害地域の本格的な復旧・復興活動がスタートします。この活動は、数十年の長い期間にわたることが予想されます。同窓生の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(平成24年3月 代表幹事 佐久間 隆)

茨城大学同窓会連合会事務局  
(事務局総務課内)

〒310-8512 水戸市文京2-1-1  
電話：029-228-8007 FAX：029-228-8019

茨城大学HP

<http://www.ibaraki.ac.jp/>

茨城大学同窓会連合会HP

<http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/alumnus/union/>